

# 学校だより



平成28年2月29日

横浜市立二谷小学校  
校長 渡邊 文子

## 成長のとき

学校長 渡邊文子

「温かい歌声と演奏に感動しました。」「素晴らしい演奏会でした。感激しました。また来ます。」卒業を祝う音楽会で戴いた感想コメントです。音楽会では、多くの保護者・地域の皆様にご来校いただき、温かい拍手をたくさん頂戴しました。心より御礼申し上げます。

さて、音楽会当日の朝のこと。2階に上がっていくと、スマイルルームの前に数人の1年生が集まっているのが目に入りました。音楽会で代表者が言う6年生へのメッセージを練習しているところでした。横一列に並んで、1年生だけで練習をしているのです。少し離れた所には二人の子がいて、声の聞こえ方を両腕でOKサインを作って教えています。「(言葉と言葉の間に) うん、うんとお休みするのができないから、練習しようと思った。」と教えてくれる子もいました。先生はいないけれど、朝の会の前に自分たちで集まって練習をしているのでした。

言われなくても自分たちで集まって練習しようとする自主性。自分たちで自己評価してめあてを設定する力。友達と協力していっしょに頑張ろうとする気持ち。友達の言葉を素直に受け止める穏やかな気持ち、等々。それらのどれ一つが欠けていても、子どもたちだけで、あれほどうまく練習はできなかったらと思います。たくましい成長ぶりです。きっと、その後、実際の音楽会でたくさんの拍手をいただいたことで、頑張ってよかったなあと達成感を感じたことでしょう。

言われて行動するのでなく、自ら考え行動する主体性を育てたいと誰もが思います。1年生の行動の原動力になったのは、一緒に遊んでくれた6年生、困っているときに優しくしてくれた6年生に感謝のメッセージを届けたいという思いです。どうしても伝えたい、知りたい、行動したいという切実感や必要感、主体的な学習のエネルギー源です。その思いを育てることが大切だということを感じさせてくれた出来事でした。子どもたちは、人と人との豊かな関わりの中で、思いを育て、力を伸ばしていくのです。

一年間のまとめの3月は、このような子どもたちの成長の姿をたくさん見ることができる時でもあります。子どもたちの成長をしっかりと捉えて、次へのステップにつなげていきたいと思えます。ご家庭でも一年間を振り返り、お子さんの成長ぶりを振り返ってみてください。

最上級生として大活躍してくれた第110代6年生が巣立っていきます。一人ひとりが新しい出会いの中で、健やかに成長していってくれることを願っています。

今年度の教育活動にお力添え戴いた、保護者・地域の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



少しほころんだ梅の花